

令和2年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立瑞穂農芸高等学校				全日制課程		進路実績 大学 21% 短大 5% 専門学校 40% 就職 28% その他 6%																			
		「生命(いのち)に学び 夢を叶える」 Learn about life and realize your dreams」						希望する進路の実現に向けて全校的な取組。フリーターにしない指導																			
基	在 地	〒 190-1211 西多摩郡瑞穂町石畑2027番地				電話番号 042-557-0142		基 本 情 報 主な部活動 野球部、バドミントン部、ソフトボール部、テニス部、弓道部、茶道部、華道部、演劇部、動物愛好部、バイオテクノロジー部、園芸部、食品研究部、服飾デザイン部																			
		アクセス (1) JR八高線箱根ヶ崎駅より徒歩20分 (2) JR中央線立川・青梅線昭島駅北口より立川バス箱根ヶ崎駅行き(約45分)瑞穂町役場入口下車徒歩15分 (3) 西武新宿・拝島線柳沢・小平・東大和市駅より青梅車庫行、瑞穂町役場入口下車徒歩15分						学 校 評 価 学校満足度:保護者96%、生徒75%、授業満足度72%、進路指導満足度70%																			
本	学 科	畜産科学科、園芸科学科、食品科、生活デザイン科						入 学 者 選 抜 情 報 募集人員 推薦:農業各科10人、家庭科21人、一般:農業各科25人、家庭科49人																			
		在 籍 生 徒 数 農業科314人(男子100人・女子214人)・家庭科204人(男子12人・女子192人)計518人 教育課程の特徴 50分6時間授業、習熟度別指導(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ等)、少人数指導(数学Ⅰ・生物基礎・家庭基礎他)						30年度入学生 推薦 31年度入学生 推薦 02年度入学生 推薦 園芸科学 3.20 園芸科学 3.1 園芸科学 1.80 畜産科学 4.00 畜産科学 3.7 畜産科学 3.50 食品 3.1 食品 2.4 食品 2.00 生活デザイン 2.57 生活デザイン 2.43 生活デザイン 2.24 園芸科学 1.48 園芸科学 1.27 園芸科学 0.96 畜産科学 1.88 畜産科学 1.57 畜産科学 1.32 食品 1.36 食品 1.15 食品 0.96 生活デザイン 1.16 生活デザイン 0.98 生活デザイン 1.02																			
情	報	ホームページ		http://www.mizuho-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算 02年度(単位:万円)		4,968		そ の 他 アクティブラーニング推進校 校 服 制服 男子・プレザー(紺) 女子・プレザー(紺)																	
		そ の 他		学力向上研究校		校 服		制服		主 要 学 校 行 事 男女別定員なし 体育祭(5月)、文化祭(11月)、修学旅行(3学年 4月)、マラソン大会(2月)																	
目 指 す 学 校		校訓「至誠」「勤勉」「創造」に基づき、「生命(いのち)に学ぶ学校」としての特徴を発揮し、農業科教育と家庭科教育を通して、「わかる」「できる」「つかう」のステップで生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、豊かな心をもつ自立した社会人を育成する学校。																									
目 標		今年度の重点目標						今年度の取組と自己評価																			
目 標	①	キャリア教育に基づく、基礎学力の向上と専門教育の充実 ①すべての教科で言語能力の向上を通じて論理的に考える力を付けさせ、アクティブラーニング推進校(3年目)として研究まとめ、成果を発表する。 ②学力・技能スタンダードに基づき、各科目で設定した内容の学習内容の定着を図り、基礎学力の向上と専門分野の資格取得を目指す。						①アクティブラーニング推進校3年目として、推進員が中心に『対話的学びを通じて「わかる」から「できる」』授業を目指して取り組んだ。全教員が、アクティブラーニング型の授業を実践した。先進校1校を視察し、研修会(1回)及び報告会(2回)を実施して研修成果を冊子にまとめ配布をした。②従来の漢字検定、英語検定、パソコン検定に加え、専門分野のFFJ検定、農業技術検定、危険物取扱者、小型車両系建設機械、家畜商、食生活アドバイザー、手話検定、食物調理技術検定、被服製作技術検定、保育技術検定など、専門分野に関係する資格試験を学年別の全員受検・参加や希望者受検で行い、今年度は延べ439名(昨年723名、一昨年675名)が合格した。																			
		「身に付けさせる規律・規範」に基づいた生活指導の実践 ①身だしなみや挨拶の指導を徹底し、礼儀と節度を身に付けさせる。 ②教室内の環境を整え、全生徒が授業規律を順守するよう指導する。 ③遅刻・欠席・早退の指導を通じて基本的な生活習慣の確立を図る。 ④学校農業クラブ、家庭クラブ、生徒会、部活動等の活動を活性化させる。						改めて「授業心得」を各教室掲示し、受講姿勢・態度について明文化し指導に取り組み、違反者には特別指導を入れたことにより改善された。また、昨年度に引き続き、今年度も生活指導統一基準に基づき「チャイムと同時に授業開始」を徹底した。殆どの生徒は授業前に教科書等の準備を行い、チャイムスタートの定着が図られている。農業クラブや家庭クラブの活動等への積極的な参加を通して、学習活動に意欲をもたせた。特に地域に密着した「箱根ヶ崎駅の草花装飾」は実施することができた。しかし、他の「移動動物園」「シルバーまちかどでの交流会・生産品販売」「みずほマルシェ」は中止となった。																			
目 標	②	キャリア教育に基づく進路実現の充実 ①高い志をもったキャリア教育・進路指導を実践し、生徒が希望する進路実現を目指す。(大学・短大進学者率30%以上、就職第一希望内定率80%以上) ②進学希望者の増加に対応するため、1、2年生は基礎学力向上、3年生には、希望進路に対応した組織的な指導を行う。						【進学】大学・短大進学者は、昨年度の42名から53名に増加した。また、専門学校進学者は、昨年度の64名から68名となり進学者数が15名増加して127名となり卒業生全体の74.3%となった。 【就職】ここ数年の求人数増加により、就職は1回目の採用試験で合格した生徒が81.5%、昨年の76.7%を上回った。要因として、難関といわれる企業を受ける生徒が少なかったと考えられる。面接のみの採用試験を選ぶ傾向が強い。進路指導のロードマップを完成させ、次年度に向けた組織的・計画的な進路指導の計画を決定した。今後も進路指導部と学年が連携を図り、すべての生徒の希望する進路の実現を目指す。																			
		今年度の数値目標の内容						29年度 30年度 31年度 今年度 03年度 04年度 05年度 目標 実績 目標 実績 目標 実績 目標 実績 目標 目標 目標																			
数 値 目 標	目 標	資格・検定合格者数(延人数)						540		675		750		727		750		672		750		439		750			
		年間遅刻30回以上の生徒数を減少させる(人)						10		5		5		10		5		7		5		4		5			
		希望進路決定率(%)						100		100		100		100		100		100		100		100		100			